

SMILE

笑顔あふれる
夢の世界



10月22日、第12回上中祭が開催された。今年のテーマは、「SMILE～笑顔あふれる夢の世界～」
会場にいる生での人を笑顔にしたいという思いで考えたテーマだ。各学級の発表、全体合唱奏など
を通じ、上中から笑顔と元気を発信できた。上中祭になった。

名作 スマイル



3年生は、オリジナルの脚本で勇気を出すこと仲間の絆の大切さを描いた劇を披露した。
劇のあらすじ
主人公は5人のクラスメイトのもとに転校してきた「上中祭」という女の子。しかし、祭は前年の学校でのいじめがトラウマでなじみずいた。そんな中、祭の笑顔が見たいと勇気を出して話しかけたり笑わせたりして懸命奮闘する5人。最後には祭の笑顔を引き出すことに成功し、友情を育むことができた。
3年生の個性や演技力を生かしたコントや表現は、大いに会場を沸かせ、大成功で幕を閉じた。
(中尾・柗木)

題字: 梶原 俊樹

〒896-1201
薩摩川内市上町
中野 191-1
上野中学校生徒会
清書: (表) 野口優花
濱邊香乃
(裏) 柗木琴奈
中尾 歩

リナー: 家吉 真央

個性的な役を演じきった

3年生



工夫された演技に驚き!

本番は思った以上に高評価で、このメンバーで最後の「上中祭」ができてよかった。
(小村好)

「川畑響希」
の劇にできた。

短気期間の中で創り上げたので大変だったが、達成感が得られた。

へ感想

「五・協・仲・楽・笑」



練習では特に歌とダンスに力を入れた。また、今回の劇を通して、甑島の海を守っていくためにどうすればいいのかが改めて考えることができた。本番では、地域の方々が笑顔になっ、てくれて嬉しかった。
(家吉)

浦島太郎現る!!
1年生は、童話「浦島太郎」をアレンジしてふるコミュニケーションの清掃活動で学んだことを劇にした。

「胸に」
2年生は、学級のテーマ「夢」を合言葉にオリジナル劇「もう一つシンデレラ」を創り上げた、披露した。

ある日、自由な将来を追い求め、物語の世界が淡い恋心や人との絆を表すシンデレラ。しかし、現実世界は思い描いていた世界とは違っていた。

「We can do it!!」
3年生は、音楽の授業で練習の成果を出すことができた。三曲目の「テキ」は、昨年も演奏した。

上中から
元気を発信!
音楽発表では、昨年に引き続き合唱奏をした。昨年と比べ、難易度の高い曲に挑戦した。一曲目の「カントリロード」は、ジブリ映画の「耳をすませば」の主題歌で、

王子やシンデレラは新たな決意を胸に、自分の夢に向か、て歩き始める。
(山下)

だが、そこで出会った生徒と、将来の在り方に、ついで語り合い、さらに王様や継母、魔法使いに、夢への道は自分で切り開くべきだ、ということを諭される。その後、王子やシンデレラは新たな決意を胸に、自分の夢に向か、て歩き始める。
(山下)

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること



会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

会場を盛り上げた曲だ。曲の中盤で入るダンスは、生徒だけでなく、先生や保護者も一緒に踊り、会場を沸かせた。みんなが、会場が一体となり、上中から元気を発信すること

協力 ~仲間を信じて~



9月24日、第7回幼小中合同大運動会が開催され、雨にも負けない熱い戦いが繰り広げられた。「協力~仲間を信じて~」のスローガンのもと、仲間と協力し、練習に励み、戦った。子どもたちが、元気を発信できた。

④ 躍動感ある 上中ソーラン

心ざ一つに 踊った演舞

練習

夏休みの前半から、三年生が集まり、演舞を求め、後半から一、二年生も合流し練習が始まりました。一年生は、初めての演舞を覚えることに苦戦しましたが、三年生のアドバイスを受け、上達していき、た、各田とも、ビデオで撮影した映像を見て動きを確認し、本番に備えました。

当日



当日は雨天の中、両団の白熱した演舞が会場を沸かした。紅団は力強く素早い動きで迫り、白団は、前列から後列へと動きをつなぎ、統一感を見せた。練習の成果を十分に発揮し、演舞を繰り広げる団員

の顔には、自信と気遣いがあふれ、見ている人にも、勇気と感動を与えた。
(中尾 希)



④ 息の合った声

腹の底から 声を出して



今年から小学生と合同での応援で、一緒に練習する時間が増えられた中で、合を決心しました。しかし、途中で大変だった。今年から小学生と合同での応援で、一緒に練習する時間が増えられた中で、合を決心しました。しかし、途中で大変だった。

今年、小学生と合同での応援で、一緒に練習する時間が増えられた中で、合を決心しました。しかし、途中で大変だった。

今年、小学生と合同での応援で、一緒に練習する時間が増えられた中で、合を決心しました。しかし、途中で大変だった。

今年、小学生と合同での応援で、一緒に練習する時間が増えられた中で、合を決心しました。しかし、途中で大変だった。

仲間を信じ 競い合った

リレー

紅白対抗全員リレーは、運動会を締めくくりにふさわしい白熱した勝負となった。紅白ともに最後まで力を振り絞って、ゴールを目指し、バトンをつけた。この日は、全員の記憶に残る思い出た。



④ アンカーハットンをつなぐ

今年、小学生と合同での応援で、一緒に練習する時間が増えられた中で、合を決心しました。しかし、途中で大変だった。

上中ソーラン

9月からの生徒が汗を流しながら必死に練習をした上中ソーラン。種目責任者の野口優花さんは、「1年生に教えるのが大変だった。海が社大をテーマにし、表現した」と感慨を述べていた。当日は、全体を使って振り付けやステップなどで、海が社大をテーマに表現するこじができた。

編集後記

今月号は、上中で最も大きな2つの行事を取り上げました。上中から元気を発信しようというキックオフイベントの通り、さまざまな場面で地域を盛り上げるこじができた。思います。また、学校新聞コーナーでは佳作を受賞しました。こじがらお応援よろしくお願います。

(家吉 真央)